

## 補充問題 熟技 70 台風

### 問題

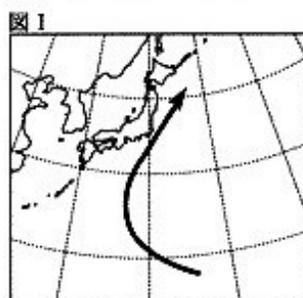
台風に関して、次の a～c の問いに答えよ。

- a 次の文は、台風の発生と勢力について述べようとしたものである。文中の2つの〔 〕内にあてはまる言葉を、㉞、㉟から一つ、㊱、㊲から一つ、それぞれ選んで、その記号を書け。

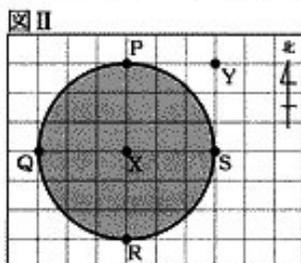
台風は、熱帯地方のあたたかい海上で発生した〔㉞低気圧 ㉟高気圧〕が発達したものであり、日本列島本州付近の海水の温度が低い所まで北上するなどして、あたたかい海からの熱と水蒸気の補給が〔㊱少なくなる ㊲多くなる〕とおとろえていく。

- b 下の図Ⅰは、ある年の9月に発生したある台風の進路を模式的に示したものである。次の文は、9月に日本に近づく台風が多くが、図Ⅰ中の矢印のような進路をとる理由について述べようとしたものである。文中の2つの〔 〕内にあてはまる言葉を、㉞、㉟から一つ、㊱、㊲から一つ、それぞれ選んで、その記号を書け。

台風が、秋になって弱まった小笠原気団の〔㉞中心付近〕を通して ㉟ふちに沿って北上すると、偏西風の影響を受けて〔㊱西寄り ㊲東寄り〕に進むため、図Ⅰ中の矢印のような進路をとる。

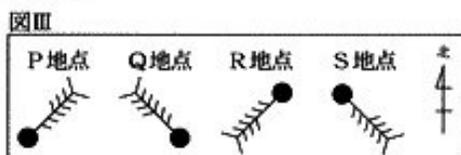


- c 台風の周辺で平均風速が 25 m/s 以上の風が吹いている領域を暴風域といい、一般にその範囲は円で示される。下の図Ⅱ中に  で示した領域は、ある台風の中心が X の位置にあるときの暴風域を表している。また、下の図Ⅲは、図Ⅱ中に P～S で示した地上の各地点で、台風が中心が X の位置にあるときに観測された天気および風向・風力をそれぞれ天気図記号で示したものであり、風力は 10 であることを表している。この台風は、暴風域の大きさおよび風向・風力を保ったまま移動し、その中心は図Ⅱ中の X の位置から Y の位置になった。P 地点で観測される風向は、台風が中心が X の位置にあるときと、Y の位置にあるときで、それぞれどうなると考えられるか。あとのア～エのうち、観測される風向を示したものとして最も適当なものを、それぞれ一つずつ選んで、その記号を書け。



ア 北東

イ 南東



ウ 南西

エ 北西

## 塾技 70 補充問題 解答・解説

解

- a 熱帯地域で発生した低気圧のうち、激しい上昇気流によって中心が渦上の積乱雲となるものを熱帯低気圧という。台風は、熱帯低気圧が海面の水蒸気や潜熱によって発達し、中心付近の最大風速が17.2km/s以上になったものをいう。台風の一生（p202用語チェック「塾技70」2.台風の一生を参照）は、大別すると発生期・発達期・最盛期・衰弱期の4つの段階に分けることができ、衰弱期にはあたたかい海からの熱や水蒸気の供給量が少なくなっておとろえていく。

答 ㉞, ㉟

- b 「塾技70 3」より、台風は小笠原気団の縁をまわりこむように進み、列島付近まで北上したあとは、上空の偏西風によって東寄りに進路を変える。

答 ㉠, ㉡

- c 台風の中心がXの位置にあるときのP地点で観測される風向は、図Ⅲより、北東とわかる。一方、「塾技70 4」より、台風の進路の左側では、風向が反時計回りに変化することより、台風の中心がYの位置にあるときのP地点で観測される風向は、北東から北西に変化する。（台風の中心がYの位置にあるときのP地点で観測される風向は、台風の中心がXの位置にあるときのQ地点で観測される風向と同じと考えてもよい）

答 Xの位置：㉟, Yの位置：㉡